

劇団かみ～ず「犬夜叉」詩集

どこだ

犬夜叉はどこだ (犬夜叉はどこだ)

犬夜叉はどこだ (犬夜叉はどこだ)

●森がざわめき (大地はおののき)

山がふるえる (川はさかまく)

風がとどろき (雲がかけぬけて)

夜がおびえる (星がかくれる)

平和なこの村の中 どこかに潜むその影

四魂の玉を狙って 犬夜叉が現れたぞ

急いで伝える (急いで伝える)

桔梗様に伝える (桔梗様はどこ)

四魂の玉を (聖なる力で)

四魂の玉を (守って下さい)

●繰り返し

どこだ 犬夜叉 どこだ 犬夜叉

どこだ 犬夜叉 どこだ 犬夜叉

虚構の夢

呪われた 俺の運命 閉ざされた 明日への扉

今こそ 四魂の玉に願いをかければ

その時 俺は妖怪になって 新たに 強く生きていける

ふたりの運命

呪われてなどない

明日への扉は一つではないのではないか

自分の運命は これから切り開いていけばよいではないか

今のおまえには 見えていないだけなのよ

犬夜叉 人間になる気はないか

— 人間だと？

わたしは巫女として 生まれてきた運命

人に弱みを見せたくはない 人に言えぬこの思い

あなたには伝えたいの かつこ悪いと笑わないで

わたしはただの女に ただの女になりたい

●ふたりの人生 まだ始まったばかり

四魂の玉と一緒に歩む 新しい明日の日を

ほどけてしまった運命に どんな明日が待っているのか

かつこ悪くたって 歩いて行こう

道が見えていなくても

●繰り返し

新しい明日の日を

歴史の中へ

テストの勉強 たまにはいいけど
ほんとの答えは 誰にも分からない
歴史の裏側 隠れたストーリー
いくつの時代を乗り越え 目覚める
いつしか私も 歴史の中へ 中へ…

奈落のテーマ

ゆらめくかげろう この世を我がものに
裏切りや あざけりを この手に握りしめ
この世は妖怪の 天下になるのだ
美しき妖怪の 世界になるのだ

奈落のテーマ (リプライズ)

ゆらり揺らめくかげろう
誰も知らない秘密の館
熱い炎は凍てつき 吹雪は燃え上がる
我が名は奈落 この世界を手に入れて
美しき妖怪の天下にするのだ
いざ いざ 行け
奪え 四魂の玉を 奪え

犬夜叉復活

散々もてあそんでくれたな
封印が解けた今 俺はメチャクチャ強いぜ
散魂鉄爪！（さんこんてっそう）

今こそ 今こそ燃え上がる
全身に 血潮をたぎらせて
この胸の熱い鼓動が
今こそ 今こそ燃え上がる
今こそ 今こそよみがえる
犬夜叉！

おすわりソング

今だ 今だ 犬夜叉を鎮める そなたの呪文で鎮めなさい
呪文って何のこと どうやったらいいの
何かいい言葉はないかしら
そうだ、おすわり！ 犬夜叉 おすわり！

あら 不思議 あら 不思議 犬夜叉が座った
犬のようにコロっと座った
よくやった よくやった かごめ殿 よくやった
犬夜叉が呪文で 鎮まった

不思議な呪文は「おすわり！」

貢ぎ物

ねえねえ あの女の子 桔梗様の生まれ変わりだって
ねえ すごいでしょ これからもう安心して暮らせるよ
ねえ すごいでしょ

桔梗様の生まれ変わり
私たちを守ってくれる

魂を受け継いだ かごめ様のことも
お慕いします お供いたします
この贈り物を お納め下さい
さあ どうぞ さあ どうぞ

四魂のかけら

四魂の玉は たとえ砕かれても
きらめく力 授けてくれるから
邪魔する者は すべて消し去るのだ
とぎれた野望が 今 よみがえるから
美しき妖怪の 天下がやってくる
邪魔する者は すべて消し去るのだ
一人また一人 力強く
一人また一人 踊らせるのだ

朔の宵

ねえ 空を見て 星がこんなにたくさん
私 こんな初めて見たわ 天の川って白いのね
別にいつもと変わらないぜ
お前の世界には 星はないのか
あるけどこんなに素敵な空
織り姫と彦星が逢えそうな気がする
太陽も月も今夜だけは 星たちの邪魔をしないから
やべっ！

妖怪退治屋さん

妖怪退治屋さん！ はあい！
北の国からやってきた 妖怪退治屋さん
呼ばれればどこでも すぐにお伺いします
ご安心下さい もう大丈夫
二人で悪い妖怪を退治します
さらに今なら半額でご奉仕します でも出張費は別料金
北の国からやってきた (どこよそれ?)
妖怪退治屋さん (自分で「さん」をつけるな)
早速お仕事に取りかかるとしましょう (もったいぶるな！)
ご安心下さい もう大丈夫
二人で悪い妖怪を退治します (それって私達のこと?)
目にもとまらぬ必殺の技で蹴散らす (なにそれ?)
ほら すてきな二人組 (やっ！)
おしまい おつかれさん！ (覚えてろ)

弥勒のテーマ

わたしは弥勒 仏に仕える身

決して怪しい者じゃございません

それじゃあ一体 何で私に

つきまとうわけ？ いい加減にしてよ

仕方がないんです こればかりは だって

一目惚れ ドッキン 一目惚れ バッキュン

お米の名前じゃありません

それは 一目惚れ ドッキン 一目惚れ バッキュン

この手でお守り致します (珊瑚さん！)

珊瑚はとてども 迷惑してるの

そうそう お願い もう来ないでよ！

まあまあ いいじゃない

邪険にしちゃ イヤン

一目惚れ ドッキン 一目惚れ バッキュン

旅は道連れ 世は情け

だから 一目惚れ ドキドキ 一目惚れ ドッカン

たとえ火の中 水の中

この手でお守り致します

どうなる？

ありふれたこの村に 集まる旅人たち
四魂の玉を探し求めて

たくされた物語 深く胸に刻んで
冒険は今まさに 始まったばかり

これから どうなる 先の見えない旅路の
答えはすぐそこ 見つかる 手を取り合えれば
確かに感じる 一人一人の鼓動が

こんなに激しくぶつかる 若さがあるから
一人ではないよ とともに夢追いかけて行こう
その前に少し休憩にしよう 十分間 休憩にしましょう
続きは また後で お楽しみ

四魂の玉

受け継がれゆく 古の玉 村に住む者の定め

桔梗様が守り続ける限り

妖怪に奪われることはない

四魂の玉に願いかければ

必ずその夢叶う

偽りのない 心の願い

一度に限り その手に

誰のもとにも 明日を導く

弥勒の秘密

呪われた運命背負い生きていくことだけが
我が一族の定め

この右手には黒く深い穴が開いて
やがて自分の体 飲み込むだろう

この呪い かけた奴を探すため

果てのない旅を続ける

忘れは (名前は) しないさ (何と言う)

あいつの (そいつの) 名前を (名前は)

忘れは (その名は) しないさ (その名は)

その名は (その名は)

奈落!

鬼がま

燃える鬼がま 炎よ踊れ 燃える鬼がま 灼熱地獄

桔梗の骨と土 混ぜ合わせ

よみがえらせる 桔梗の体

最後の仕上げ 魂宿す そして桔梗は よみがえるのだ

桔梗の魂は この中にある おまえの魂 頂くぞ

ちょっと 何するのよ!

なあに おまえの魂 抜かせてもらっただけさ

や やめて! やあああっ!

桔梗復活

黄泉がえる魂 憎しみを抱いて

消えはしない その記憶

忘れられぬ恨み この胸に刻んで

どこだ 犬夜叉 私の敵

犬夜叉を倒せ 犬夜叉を倒せ

それがただひとつの おまえの定めだ

恨みの桔梗

ゆらめく黄昏が わたしを迎えてくれる

目覚めるこの恨み おまえをこの手で倒すまで…

輪廻

遙かな時をこえて いつか魂はつながる

わたしはあなたになり また未来を拓く

必ず逢える 犬夜叉の生まれ変わり

魂はひかれ合い 巡り逢うものだから

ふたたびあなたのもとへ

かごめの道

かごめ様 帰ってしまうのですね
でも 後のことは大丈夫
私たちはしっかりやっていますから
犬夜叉のこと お願いね
はい

人はみな誰でも 過去を背負い生きている
ひとつひとつ明日から明日へと
自分の手でつないで行く道
また会えるよね かごめ様 その時まで お元気でね
あなたたちのこと忘れない いつまでも忘れはしない
かごめは今旅立つ 思い残すことはない
四魂の玉に願いこめて 一人で歩いていく
叶えておくれ 四魂の玉よ 元の世界に連れて行って
もう 振り返ることはない 必ずまた逢えるから
●さようなら さようなら また逢える その日まで
きっとどこかで巡り逢える 私の大切な人
●繰り返し

かごめ 帰っちゃうのか
かごめ 一言だけ 言わせてくれ
かごめ ありがとう…!